

髄膜炎菌(ずいまくえんきん)感染症

■概要

脳や脊髄(せきずい)は髄膜(ずいまく)という膜で保護されています。髄膜炎菌感染症は髄膜炎菌が髄膜に感染して生じる感染症です。国内での髄膜炎菌感染症の患者数は年間30~40例ほどですが、死亡率が高いため、注意が必要です。15~19歳の若い世代で多く報告されており、集団生活が感染のリスクとなるため、寮などで集団生活を送る学生等にはワクチン接種が推奨されています。

■症状

初発症状は発熱、頭痛、嘔吐などの風邪のような症状です。

その後、急速に悪化するのが特徴で、皮下出血、発疹、意識障害などが出現します。死亡する例も多く、適切な治療を受けた場合でも、発症後24~48時間以内に10~19%の患者が死亡しています。

■潜伏期

感染して2~10日して、発症します。

■感染経路

髄膜炎菌は鼻やのどの粘膜に存在するため、人から人へ以下の経路で感染します。

- ・咳やくしゃみ
- ・ペットボトルの回し飲み
- ・食器やコップの共有
- ・キス

■予防法

ワクチン接種が有効です。寮などで集団生活を送る学生、アフリカ中央部などの流行地域へ渡航する学生等はワクチン接種を検討しましょう。各自で、医療機関(内科、小児科等)にお問い合わせください。また、厚生労働省検疫所のホームページに予防接種実施機関検索があります(<https://www.forth.go.jp/moreinfo/vaccination.html>)。

■髄膜炎菌感染症と診断された場合

髄膜炎菌感染症と診断された場合は、登校・出勤せず、担当事務ならびに保健管理センターにご連絡ください。

- ・ **学校における出席停止期間の基準**

感染のおそれがなくなるまで(学校保健安全法施行規則)

- ・ **病院職員ならびに診療に従事する者**

まず、病院感染制御部(Tel: 082-257-5372)に連絡の上、その指示に従ってください。

- **ご不明な点があれば、ご相談ください。**

保健管理センター(Tel: 082-424-6192, email: health@hiroshima-u.ac.jp)

- **参照**

- ・ 髄膜炎菌性髄膜炎. 厚生労働省検疫所,

<https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/2018/01230946.html>

- ・ 髄膜炎菌性髄膜炎とは. 国立感染症研究所,

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/405-neisseria-meningitidis.html>